

ねこのほいくえん



里親さん決定！

ボロボロで人間不信になっている野良猫は、そのままではイエネコとして生活できません。ほいくえんで保護とケアをし、里親さんが決まりました！

ねこのほいくえん

NPOや友人知人を通じて、野良の猫を保護し、里子に出すための訓練をおこなう「ねこのほいくえん」プロジェクトに携わっています。さまざまな事情を抱えた住民と猫、双方が安心して暮らせるまちにすべく、今後も支援してまいります。

活動のご報告

県が主催する防災士養成講座「あいち防災・減災カレッジ」を受講中です。愛知県内の実態にあった専門家の講義を聴き、受講生同士のワークショップに参加しています。9月1日の「防災の日」は、災害時図上訓練(DIG)でグループ代表者として発表をおこないました。



今年の秋は、大きな台風が相次ぎました。緊急時は、市内の対策本部(市議は支部)に行くことになっています。

大府市議会議員 たかばとくこ

今年の秋は 危機管理特集！

6月9日一般質問 活動のご報告 紙面リニューアルのお知らせ

2018年秋号

しからみゼロ! 0宣言

3期12年、さらなる挑戦



たかばとくこ Obu City Councilor: Tokuko Takaba

大府と市議の「いま」をレポートする 活動・議会REPORT

FOLLOW ME!!

たかばとくこのツイッターアカウントでは市からのお知らせだけでなく、自ら情報収集して気象庁のデータや水位情報、満潮時刻、JR運行状況や停電情報など、市民の安全のための信頼性の高い情報をリアルタイムに発信しています。この機会にぜひフォローください。Twitterアカウントはこちら→@takaba_tokuko

SNSのお知らせ



大府 たかばとくこ

紙面リニューアルのお知らせ

印刷コストを削減し、より多くの市民のみなさまへと見やすく、読みやすい紙面をお届けするため、新聞折り込み・フルカラー印刷へと全面リニューアルいたしました。3期12年、市議会議員として大府のための提言をしてみましたが、これまでも今後も、初心と一般的なお金の感覚、そして専門的な知識や経験を活かした、誠実な活動をしてまいります。みなさまどうぞご理解の上、応援よろしくお願いいたします。

鷹羽 隆久子

6月 一般質問

刃物を持った不審者!?

2月1日午後、大東小学区内で刃物を持った不審者の情報があり、小・中学生の下校を見合わせるという事案が発生いたしました。「安全が確認できるまで学校から子どもたちを出さない」という判断は正しく、保護者へも学校のメルマガを通じて情報が周知されました。しかし、その一方で、学校に関係のない地域の住民には、何も知らされることがありませんでした。もしきちんと知らされていれば、外出

を控えたり、戸締りを厳重にしたり、自分の身を守るために何かしらの行動が各自できたはず。たとえばご家庭で赤ちゃんや子どもを育てているかたであれば、不審者のことなど何も知らずに、普段どおり子連れで買い物に出たりするにちがいませんし、走って逃げることで、**きかないお年寄りや女性は「万が一」がそのまま命取りになることがあります。**決して大げさではなく、「命を守る」「安心を守る」ために、**あってはならないことです。**そこで、以下の質問を行いました。

Q:「地域住民への周知はどのように図られたか」
A:「自治区へFAXで情報提供を行った」
→次へ

たかばとくこ後援会

無党派・無所属！ 3期12年、さらなる挑戦にご期待ください！

〒474-0011 大府市横根町羽根山203-102号 本人直通！ TEL 090-4776-5282 E-mail: teamtokuko@yahoo.co.jp

しからみゼロ! 0宣言

た。これ以上は警察からの情報提供の時点で特に要請がなく、実施していない」

Q:「家庭で子育てする世帯、高齢者、市外の学校に通学する児童生徒等、地域住民の安全を図るための周知方法の検討は」

A:「特定の地域に緊急かつ重大な危険が及んでいるとの情報があれば、警察と協議の上、広報車、ホームページなどの広報手段を活用するほか、SNS、ケーブルテレビなどの周知方法も検討しているところである」

本来はこうした時に有効に使うべきである、ツイッターやフェイスブックなどの「すぐに一般の市民にお知らせができる広報ツール」を市がすでに持っていたのにも関わらず、なぜそうした危険や、不審者の情報を一般の市民に周知させられなかったのでしょうか？



現状を検証し、緊急度・危険度を踏まえたお知らせについて、再検討を求めています！

9月 一般質問

豪雨・地震・断水。実際にはどうなるの？

災害の話でよく「お風呂やプールの水をためておきましょう、トイレが流せません」ということが言われていますが、「地震で下水管や処理施設が壊れた場合は汲み置き水があっても流してはいけない・マンホールトイレも使えなくなることがある」という情報は、あまり周知されていません。

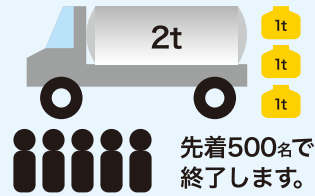
豪雨についても、大雨報道の際に「トイレが逆流することがあります。ご注意ください」という呼びかけが流れることがありますが、実際には大府市の下水道では、雨水と汚水の管を分けているため、基本的に逆流はありません。



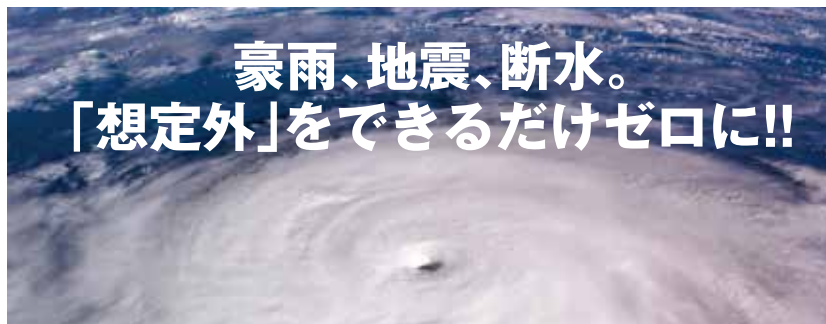
また、現在大府市で持っている給水車は2tが1台、トラックに積める1tのタンクが3基だけです。

これをもし1人あたり10リットルずつ給水パックで持ち帰ると、**先着500名様までになってしまう**計算です。各自・各ご家庭でどれくらい備えておかなければいけないのか、情報を整理し、周知徹底しなければなりません。

1人10Lずつ持ち帰ると…



整備の環境が違えば、同じ規模と同じ種類の災害であっても被害の規模や実際の対応が変わってきます。



そうした大府ならではの特性に合わせた対処の方法や、事前の心構えなど、情報が市民に与えられていれば、おおごとになる前に防げることがたくさんあります。そこで、以下の質問をおこないました。

Q:「地震災害に置ける下水道施設の被害でトイレが使えない場合の想定と、その場合の周知は」

A:「汚水管の損傷が発生した場合、マンホールからあふれたり、最悪の場合家庭のトイレからもあふれることがありと考えると、さらに下水処理場が被害を受けた場合、下水道を長期間使用できなくなる事も考えられる。風呂の汲み置き水についても、同様に使用を控えていただく必要がある。まだまだ下水道の役割や重要性が広く市民に理解されているとは言えないため、下水道への理解度を高めるPR活動を進めていく。合わせて、災害時にトイレなどを使用できないことがあることについても、お知らせしていく。」



突然来るのが自然災害。「どんな時でも安心してみんなで暮らせる大府」にするため、さらなる準備や議論を進めていきます！

小中学校にエアコン設置へ

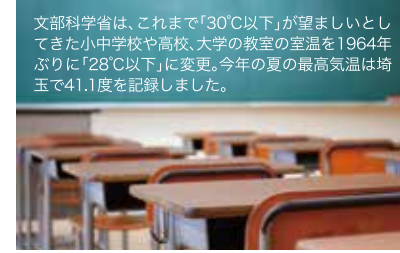
多くの声にお応えし、討論で発言を行いました

こちらは本当に多くのお声をいただきました。

大府市議会では、10月4日に市長から補正予算が追加提案され、全会一致で可決となりました。

空調設備工事費として小学校は6億4839万円、中学校は2億7300万円です。設計費はすでに予算化されたやりくりの中で進めており、この金額は工事費のみの予算です。

財源は国の補助金が1億6217万円、ふるさと納税基金が1億円、9月時点までの前年度の繰越金全額の3885万円に、不足分として財政調整基金6億2037万円を取り崩します。これによる市債(借金)は発生しません。



多くのご要望が寄せられた事案であり、私の考えについて伝えるため、討論(議会で賛否を決める直前に意見表明として行われる討論)において、以下の発言を行いました。



汗をかいて体温を調節する機能は18才前後で完成する。子どもは水分補給だけでなく体温にも注意が必要。

「校舎が古く、断熱効率はどうか？壁や天井に取付・配管の強度があるか？などの懸念はあるものの、**子どもたちの安全を考えれば学校のエアコン設置は緊急である**。そのうえで、各地で一斉整備に向けて事業者の取り合いになることも予想される。「**来年の夏には熱中症の心配をしなくてもいいんだ**」と安心している保護者・子どもたちの期待に応えるべく、**確実に遂行していただきたい。**」(要約)

クラウドファンディングやITの活用で、新しい手法にも注目！

市の職員研修のテーマに採用されました!!

2年前の28年度6月定例会で、他市町村や一般的な生活では活発になってきたクラウドファンディング(インターネットを活用した資金調達方法)について取り上げ、研究をしているか、市・事業者や起業家・市民活動分野での活用の考えはどうか、などを質問しておりました。

大府市では現状まだまだ活用されている事例が少ないものの、このたびの言及をきっかけに、今回、大府市職員研修のテーマに採用されました。

10/15に開催された「地方創生のための新たな資金調達の方法～クラウドファンディングの活用」講演会は市職員だけでなく、議員や一般の方など多数の参加がありました。今後IT化が加速し、激変していく時代の流れの中で、大府市や、大府の子どもたちが時

代に取り残されることのないよう、市議会議員として最先端の技術や情報についてもしっかりと研究し、学び、市政と市民の皆さまの生活に生かしていけるよう、今後も意欲的に活動し、取り組んでまいります。

いざという時でも安心して暮らせるまちづくりのため、これからも取り組んでまいります。

